

議会だより

2016

平成28年11月1日発行

No.21



がんばって、もうすぐゴール
仲南こども園

Contents

平成28年度一般会計補正予算を可決

- ② 議案採決結果
- ③ 9月定例会・委員会研修報告
- ⑦ 委員会報告
- ⑩ 9人が町の考えを問う 一般質問
- ⑮ いっぺんきてつか 議会報告会
- ⑯ 議会からこんにちは
転換期を迎えた農業～集落営農～

住民のみなさまへ（お詫び）

飲酒運転でまんのう町議会議員が警察に検挙されるという、前代未聞の不祥事が起こりました。まったく残念でなりません。住民に範を示すべき議員という立場でありながら、そういった自覚のなさに憤りを感じざるを得ません。

まんのう町議会を代表するものとして、住民のみなさまに心よりお詫び申し上げます。

今後、まんのう町議会の信頼回復のために、議員一同あらためて襟を正し、住民の付託に応えられるよう精一杯取り組んでいく所存であります。ご理解ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成 28 年 9 月 23 日

まんのう町議会議長 田岡 秀俊

発議第1号 辞職勧告決議(案)

〔提出者〕 関 洋三 議員
〔賛成者〕 白川 正樹 議員
 合田 正夫 議員

〔提案理由〕

まんのう町議会に所属する白川年男議員には平成28年7月1日の夜、炭所西の自宅に帰る途中、琴平警察署の検問において飲酒運転により検挙されたという噂が多数、議会にも寄せられました。議会として真相を聴取するも、本人はかたくなにコメントを貰き通しました。その後、各報道機関が2か月後の9月定例会議会中の委員会に連日わたり白川年男議員を取材するため、多数押し寄せてきました。そこで、酒気帯び運転で検挙されていたことを、自ら告白するに至りました。

白川年男議員は、住民から付託を受け、自らの行為を厳しく律することはもとより、率先して規範を示すべき立場にある町議会議員として、まんのう町民の信頼を著しく失墜させるばかりでなく、まんのう町議会の品位をも傷つけたことは議員としてあるまじき行為で、断じて許すことはできません。特に町内の交通安全運動に日々取り組まれている関係者に対しては大変な裏切り行為でもあります。

今後のまんのう町議会がより一層町民の信頼を得て付託に応えられる町議会となり得るため、厳しい決断を下さざるを得ません。昨年の平成27年1月の臨時議会と今回の件の2度にわたり辞職勧告決議(案)を提出するのは、本意ではありません。しかしながら、議会は自ら浄化する能力があることを、町内外に示すことが重要であります。

よってまんのう町議会は白川年男議員が、自らの責めを負って、社会的道義的責任を感じ自らの意思により直ちにその職を辞することを強く求めます。

以上、決議する。

平成28年9月23日

まんのう町議会

議案の採決結果

平成28年第3回定例議会（会期：平成28年9月5日～9月23日）

議案名等	議員名	議席番号															
		15	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	16
		田岡秀俊	竹林昌秀	川西米希子	合田正夫	三好郁雄	白川正樹	関洋三	白川年男	白川皆男	大西樹	藤田昌大	松下一美	三好勝利	大西豊	川原茂行	欠員
発議第1号 辞職勧告決議(案)		10	3	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—	—	—

※○ 賛成 — 退室 欠 欠席
※ 議長は可否同数の場合にのみ表決権を有します。(議長 議席番号15番)

平成28年9月定例会

開催期間 9月5日～23日(19日間)

一般会計補正予算、まんのう町企業誘致条例の一部改正など9議案の審議を行い原案通り可決し、人権擁護委員の推薦に同意した。

平成27年度まんのう町一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算の審議を行い認定した。

白川年男議員に対する議員辞職勧告決議(案)を全会一致で可決した。



健康長寿のまちづくり(まんのういきいき体操)

平成28年度 9月補正予算(概算)

会計名	補正額	予算総額
一般会計	2億7970万円	106億9970万円
特別会計 <small>国民健康保険・介護保険</small>	7910万円	50億4240万円

平成28年度 9月補正の主な内容(一般会計) 概算

事業名	目的別名	予算額
※ 畜産クラスター事業	農林水産業費	7800万円
道路橋梁維持・新設改良等	土木費	6100万円
土木災害復旧事業	災害復旧費	4700万円

※ 畜産クラスター：地域の関係者が連携し畜産の収益性向上のために取り組む事業。

●平成28年

9月定例会

即決案件

議案第4号

町特別職の職員で非常勤のもの
の報酬及び費用弁償に関する
条例の一部改正

「心身障害児就学指導委員会委員」
を「特別支援教育委員会委員」
と変更した。

議案第5・6号

町官民連携事業に関する個別
外部監査契約に基づく監査と
契約の締結

【契約金額】

金268万円

【契約相手】

高松市 三和会計事務所

税理士 米田 守宏 氏

【契約期間】

自 平成28年9月5日
至 平成29年3月31日

原案可決

議案第8号

町国民健康保険特別会計補正
予算(案)

原案可決

議案第9号

町介護保険特別会計補正予算
(案)

原案可決

諮問第1号

人権擁護委員候補者の推薦

高篠

○久留嶋一之 氏

吉野

○有信 隆雄 氏

同意



付託案件

9月7日、9日、13日から15日
の5日間にわたり執行部に必要な
書類の提出と詳細な説明を求め、
慎重に審査を行った。

議案第1号から第3号は総務委
員会で審査・採決を行った。

・認定第1号、議案第7号は審査
を全議員で行い、採決は総務常
任委員会で行った。

・認定第2号から第4号、認定第
8号は審査を全議員で行い、採
決は、教育民生常任委員会
で行った。

・認定第5号から第7号、認定第
9号は、審査を全議員で行い、
採決は建設経済常任委員会
で行った。



資料を基に慎重に審議を行った

総務常任委員会付託

議案第1号

企業誘致条例の一部改正

対象は、工場及び試験研究施設の
新設のみであったが、情報処理関連
施設、旅館、観光施設、道路貨物運
送業の増築、改築、事業の再開も加
えた。

●主な質疑と答弁

【委員】 過疎法の中で誘致に向いて
いる業種を調査、研究しているが、
条例との整合性はあるのか。

【執行部】 誘致業種については、県
内各市町の条例を確認し参考した。

【委員】 これまでに、企業誘致条例
の適用を受けた例はあるのか。

【執行部】 問い合わせはあるが、適
用された企業はない。

【委員】 過疎法では税の減免をした
場合、地方交付税で補填してくれる
が、どのように連動しているのか。

【執行部】 固定資産税を免除すると
なっている。税を免除した形で課税
を行い、課税証明書を企業が提出し
それにより補助金が出る。

原案可決

議案第2号

町税条例の一部改正

町民税の内、法人税割の税率を100分の9.7から6.0に下げた。

●主な質疑と答弁

〔委員〕 条例改正の目的は。

〔執行部〕 消費税10%導入時に法人税割の地域間の税減の偏りを是正し、財政力格差の縮減を図るためであり、法人税の一部を交付税で措置するためである。

〔委員〕 国の方で消費税増税に合わせて法人税が30%を割ると聞か、それとの関連性はあるのか。

〔執行部〕 30%というのは、国の税率である。これは法人住民税・町の税率である。

議案第3号

国民健康保険税条例の一部改正

「日台民間租税取決め」にかかると国内法の整備によって租税条約の締結が困難な地域（台湾）との間での取り扱いを規定した。

原案可決

議案第7号

平成28年度まんのう町一般会計補正予算(案) 第1号

●主な質疑と答弁

○企画管理費

ふるさと納税の目標額の増税・返礼品・郵送料業務委託について。

○自治振興費

デマンドタクシー事業の支出区分・補助金から負担金への振り替えについて

○老人福祉費

介護ロボットの導入、介護現場での重労働の改善について。

○畜産業費

畜産クラスター事業・肉用牛、乳牛の糞尿を堆肥化する機械購入について。

○全国育樹祭実行委員会補助金

花いっぱい運動や啓発事業、京都で開催される育樹祭への視察研修について。

○土木管理費

町道の草刈り、町道9号線の補修や舗装について。

原案可決

認定第1号〜第9号

総務常任委員会付託

認定第1号

平成27年度まんのう町一般会計歳入歳出決算認定

●主な質疑と答弁

○総務管理費

※ キッズヘキサスロンの導入効果について。

※ 運動用具を使って遊び感覚で基本動作を身につける。



楽しく遊び感覚で



政策前進 きらり輝く町づくり

福祉タクシチケットの有効利用について。

○戸籍住民登録費

転入・転出の人口の異動の傾向について。

○農業振興費

新規就農者や農機具購入等の補助について。

○商工総務費

商品券の換金率について。

○観光費

企画観光課の新設と積極的に町のPRをおこなうことについて。

原案認定

教育民生常任委員会付託

認定第2号

平成27年度まんのう町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定
病気別の数値・保険事業の費用対効果等について。

認定第3号

平成27年度まんのう町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定
後期高齢者の受診状況や医療費の増減傾向等について。

認定第4号

平成27年度まんのう町介護保健特別会計歳入歳出決算認定
各種事業の成果と職員の活動記録等について。

認定第8号

平成27年度まんのう町浄化槽整備推進事業特別会計歳入歳出決算認定

建築経済常任委員会付託

認定第5号

平成27年度まんのう町簡易水道特別会計歳入歳出決算認定
公債費、今の元金償還の状況について。
有収率と漏水の関係等について。

認定第6号

平成27年度まんのう町下水道特別会計歳入歳出決算認定
起債の借り換えの研究等について。

認定第7号

平成27年度まんのう町農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定

認定第9号

平成27年度まんのう町水道事業特別会計歳入歳出決算認定
事業実績数値や根拠等について。

原案認定

原案認定

第57回四国地区町村議会議員研修会報告

【日時】平成28年10月13日

【場所】レグザムホール 小ホール

Report
01

これからの地方自治に対応した
議会の活性化を図るため



真剣なまなざしで研修をうける議員

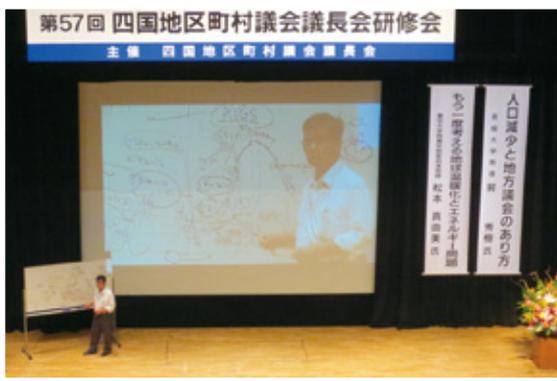
四国地区町村議会議長会主催による議員研修会が高松において開催され、まんのう町からも12名の議員を含む15名が参加いたしました。

まず、香川県町村議会議長会会長 森口久士小豆島町議長あいさつの後、10名の自治功労表彰があり、まんのう町議会からも大西樹議員が表彰を受けました。

次に研修会に移り、名城大学教授の昇秀樹先生より、「人口減少と地方議会のあり方」と題し、議員間討議の重要さと右肩上がりの時代が終わり、不利益・負担の分配の時代になったという認識をもつことを学びました。

また、東京大学客員准教授の松本真由美先生より、「もう一度考える地球温暖化とエネルギー問題」と題し、地球温暖化の現状と今後のエネルギー対策について、詳しく学びました。

今回の研修で学んだことを生かして、さらに住民の負託に応えられる議会をめざし議員一同取り組んでまいります。



教育民生常任委員会

- 介護
- 民具展示
- 高齢者支援
- B型肝炎ワクチン
- 放課後児童クラブ

介護
町が管理指導者に



かりんの郷・満濃地区

【生涯学習課長】民具は一番身近な歴史であり、子どもたちが体験することで学べる場としたい。工事は、28年8月末から29年1月末の予定である。29年3月末には展示も終えたい。工事費は設計額で約1500万円である。

【委員】「有料老人ホームかりんの郷」が「地域密着型特定施設 入居者生活介護」に指定変更になるが、利用者への影響は。今後の入所要件等についての考えは。

【福祉保険課長】町外から入所の1名に影響があるので出身自治体と協議する。今後の入所要件については、他町の動向を見てある程度設ける必要がある。

民具展示
子どもに伝える
当時の生活

【委員】旧仲南北小学校に新設予定であるが、目的、日程、工事費は。



くらしの知恵がいっぱい

高齢者
こまやかな支援を

【委員】高齢者の困りごとのひとつに散髪があげられると思うが、地域包括支援センター運営協議会の中で支援を検討できないか。

【福祉保険課長】新しい総合事業である訪問事業の中で検討していきたい。

B型肝炎ワクチン
より多くの子ども
健康を守るため

【委員】平成28年10月より定期接種となるが、対象児は平成28年4月以降に出生した0才児となっている。感染するとキャリア（無症状の持続感染者）になりやすい1才〜4才までの乳幼児についても、町独自の公費助成の対象とはできないか。

【健康増進課長】今回の対象児においては100パーセントに近い

い接種を目指している。現在のところ対象児枠の拡大については考えていない。



すくすくと元気に育ってね

子どもの安全
居場所づくりの
充実を

【委員】建築中の満濃南小学校放課後児童クラブの収容人数は。

【学校教育課長】計画では70名である。来年からは6年生まで受け入れる予定である。



髪を整え気持ちもさわやか

建設経済常任委員会

- 地籍調査
- 町おこし
- ボタン園
- 漏水対策



進む地籍調査

地籍調査 納得、順調な調査を

【委員】地籍調査の28年度の費用は、筆界未定のケースはあるのか。

【地籍調査課長】28年度の事業費は3600万円です。委託料が3200万円であるが、筆界の未定は毎年1、2件であるが、後の処理は当事者で行うことになる旨の説明を十分に行っている。

町おこし 景観の良いひまわり畑に

【委員】ひまわりの作付けに対する補助金は、管理の仕方によって考えるべきではないか。また、補助金の執行は慎重に行うべき。

【農林課長】本町はひまわりを町おこしの主要事業としているので、作付者には景観に配慮したものにしよう管理をしてもらいたい。目的に沿った助成ができるよう進めていきたい。

【委員】農業委員の中で、ひまわり畑の除草作業についての問題提起はあったのか。

【農林課長】農業委員より所有者に働きかける。動かない場合は通知を出す。それでも動かない場合は勧告もあろう。



満濃池下のボタン園

ボタン園 環境整備を

【委員】ボタン園の管理や危険場所の対応はどうなっているのか。

【農林課長】ボタン園はホテル見公園の中にあり、ホテル見公園の維持管理は年間を通して業者委託している。危険箇所に関しては早急に対応したい。



手入れの行き届いている ひまわり畑

水道 有収率向上を



いつも、いつまでも 安心・安全な水を

【委員】漏水は、配水管の老朽化によるものではないのか。計画的な漏水対策はできないか。

【水道課長】配水池毎の漏水調査に重点をおき、有収率向上に努めている。漏水は一概に老朽化だけではなく地形も関係しているため計画的な対策は難しい。

総務常任委員会

- 選挙
- 免許返納
- 防災士
- ことなみ未来会議
- 仲南支所周辺整備工事

選挙 若年層の投票率向上を



ひとりの一票が未来を変える

【委員】 今回の参議院選挙から選挙権が18歳以上となったが、若年層への投票への意識に対する対策は、考えているか。
【総務課長】 投票への呼びかけ、啓発、周知の方法など、どのような方策がとれるか検討し、投票率向上に努力したい。

高齢者の免許返納 返納者への支援の拡充を



返納者にはパス券

【委員】 デマンドタクシーのチケットで1年間の優遇がされているが、優遇期間の延長はできないか。
【総務課長】 交通機関を考えると、本町の場合、買物、通院に不便さを感じる。支援ができるよう知恵を出していきたい。

防災士 早期に活動を

【委員】 現在町内に13名いる防災士にどのように活動してもらうか考えているのか。
【総務課長】 防災のリーダーとして、自助・共助の啓発、意識の啓発など、組織化して独自で活動できるように勉強していきたい。

ことなみ未来会議 会議に期待

【委員】 早急にまとめ、実行に移すべきでは。
【総務課長】 地域を回り集落状況調査を実施中。高齢化の進んだ住民の生活をどうすべきか、また旧琴南中学校の利活用も検討会で検討している。

仲南支所周辺工事 仲南公民館の解体工事は

【委員】 公民館の備品の販売への周知、アスベスト除去、進捗率はどうなっているか。
【仲南支所長】 備品は告知放送で。アスベストは専門業者で処理、工期内の完了に向けて施工している。



解体工事中



解体前

進む仲南公民館解体工事

議員名	質問内容	関連ページ
竹林 昌秀	・政府は28兆円の経済対策を行う。本町のこれへの対応を問う ・本町独自の担い手対策の運用を求める ・ふるさと納税の実績を県内市町との比較でご説明願いたい	P10
松下 一美	・ふるさと納税、子ども未来夢基金等の運用状況を問う ・防災、減災対策を問う ・水資源対策を問う	P11
川西米希子	・公文書の管理、保存、利用について	//
関 洋三	・告知放送の改善策について ・公民館活動の活性化について ・無線ラン設置について	P12
三好 郁雄	・まんのう町防災訓練の実施をしてはどうか ・夜間道路を明るく出来ないのか	//
白川 正樹	・大規模災害時の被害状況の連絡について	P13
合田 正夫	・イノシシ対策 ・農地改革を	//
川原 茂行	・農業振興について	P14
三好 勝利	・免許証の自主返納者に対する取扱い及びアフターフォローについて ・シルバー人材センターのシルバーの方に対する対応について ・教育委員会事務局に幼児課を	//

議員



町長・教育長

議員が町の考えを問う

9月定例会では、9人の議員が一般質問を行いました。議員情報等は、まんのう町ホームページ（議会情報）に掲載していますので、ご覧ください。



堆肥の循環

問 農業の担い手対策
年金生活者や
小規模営農への支援を
慎重な研究、弾力運用で

答 政府は28兆円の経済対策を行う。町長の経済観を問う。政府施策の積極的な導入を求める。
町長 施策内容を吟味し、未来への投資という経済対策の趣旨から交付金などを活用する準備を万全にする。雇用促進のために企業誘致は不可欠だ。なお、設備投資も重要であり、太陽光発電の課税標準額は18億円余りとなり、償却資産全体の11・1%を占める。

経済

問 本町の対策を求める

答 未来への投資のために



竹林 昌秀 議員

企業版ふるさと納税

問 早急な準備で、
企業版ふるさと納税に
ネット活用と社会貢献の
誘導で

答 規模要件を緩和して、本町独自の担い手対策を求める。退職者、兼業の類型を横出し、上乘せ支援できぬか。
町長 新規就農も加えて、過疎法のソフト基金も使えそつだ。
町長 土地利用型担い手が離れないように、集落営農も踏まえるように、慎重に研究する。新規就農者へは、国県へ弾力運用を求める。

竹林 ふるさと納税の実績に県内市町の差異が出たのはなぜか。企業版では、出遅れは許されぬ。

町長 自治体間競争となるので、ネット活用を目指し、活性化させる。企業の社会貢献を引き出すよう、地域再生計画の認定を受ける。

ふるさと納税、子ども未来夢基金

問 積極的に活用を

答 子どもたちの育成に活用



松下 一美 議員

松下 寺島祐二さんを始めとする善意のふるさと納税により、かりんの丘公園にプレハブが設置され、少年野球等の多くの利用者に喜ばれている。今後も、納税をされた方の意向を汲み積極的に有効活用することが望まれるが町長の考えは。子ども未来夢基金も積極的に有効活用を。



多目的プレハブ

町長 両基金の運用については、有効活用を計り、子ども達の育成事業に取り組んで行く。

問 大規模災害の備えは
答 防災・減災にむけ
対策を進める

防災・減災

松下 熊本、大分地震において罹災証明の発行が遅れていたが、本町に

おいて大災害時の業務

継続計画が急がれる。本町の上流域には、土器川を始め、満濃池、亀越池等があり、決壊時には大きな被害が予想される。本庁舎の非常用電源は地下にあるが大丈夫か。課税台帳を始め重要書類等の保管は大丈夫か。

町長 非常用電源は今後2階以上への設置を検討する。罹災証明等は職員研修を実施し、業務を選定し、業務継続計画に反映する。

治水対策

問 多目的ダムを

答 根気よく協議していく

松下 本町上流域の土器川には、ダムが無く急峻なため、大雨時には氾濫により、被害がたびたび発生しており、洪水調整を兼ねた、多目的ダムの設置が望まれるが、町長の所見を問う。

町長 最近の局地的豪雨に備え、洪水調整機能を有するダムは必要であり根気よく対応策を協議していく。

公文書(管理、保存、利用)

問 公文書館の設立を

答 中讃広域市町で
検討を進める



川西 米希子 議員

川西 公文書とは、町職員が職務上作成したもの、取得した文書、図画、写真等であり、今を後世に伝える重要な役割を担っている。

保存期限を過ぎた公文書の中でも、価値のあるものは、公文書館の管理に置き、町民との共有知的資源として、積極的に公開するとともに、後世に残していくべきではないか。また、災害時における重要公文書の搬出等の対応策はあるか。

町長 本年8月、中讃広域行政事務組合において、県と市町村が共同運営する福岡共同公文書館の研修に参加した。研修を受けて、個々の設置は費用的にも難しいが、歴史的公文書の重要性から、2市3町での設置の実現に向けて、検討するとの共通の認識をもったところである。



多くの人に利用されている文書館

行政放送

問 より有益な放送に

答 番組編成委員会で協議したい



関 洋三 議員

公民館

問 地域格差の是正を

答 まず現状を調査する

関 各施設の配置職員数や休日の

違いが活性化を阻害しているのでは。

教育長 施設の役割により職員数や

休日の違いが生じているが、実状を

調査するとともに協議検討してい

たい。

公衆無線

問 ラン設置を

答 サービス提供に向け

進めている

関 香川県行政も推進している。

町として今後の整備計画を示してほ

う。

町長 予算措置を進めており、まず

は公共施設や避難場所となる防災拠

点施設を中心に各公共施設から設置

していきたい。



くらしに必要な情報を伝える

防災対策

問 救助の訓練を

答 地域の防災力強化も必要



三好 郁雄 議員

道路環境

問 照明灯で夜間の

安全確保を

答 地元住民の理解や

要望が必要

三好 安全、防犯等を目的に水銀灯

や防災灯が設置されているが、も

と設置箇所を増やすことはできな

い。また、付近の木が繁茂し照明が充

分に機能していない場所もあるので

適切な管理が必要ではないか。

町長 夜間照明

灯の管理は、各

道路管理者が

行っている。新

設等の要望は、

地元から管理者

への申請が必要

である。設置後

は、適切な管理

を行っていき

たい。



孤立住民の救助訓練（イメージ）

情報伝達

問 アマチュア無線局と協定を締結してはどうか
答 協力協定を協議したい



白川 正樹 議員

白川 大規模災害が発生すると、被害状況の把握、負傷者の有無確認、

災害救助の要否の判断と実行、災害救助活動など極めて緊急を要する事態が発生し、各段階での迅速かつ的確な情報伝達が必要となる。一方、住民から災害本部への情報伝達手段は固定電話や携帯電話が主である。大規模災害になると住民と災害本部との間の情報がうまくいかない事が過去の災害では多く見られた。消防団は毎月無線訓練をしているが、同じように、非常災害時に停電等の事態になっても住民に関するきめ細かい情報伝達手段の機能を発揮することができなのが「アマチュア無線」だ。より一層情報伝達を充実するため「アマチュア無線局」と、協定を結んでどうか。

町長 香川県や高松市でも災害時の情報伝達に関する協定を結んでいる。本町の地域防災計画においても通信



消防無線の次の一手は

運用計画で被災地・避難所等との連絡手段として、必要に応じて「アマチュア無線団体」に協力を要請することと規定している。町内の「アマチュア無線団体」に協力いただけるのであれば災害時の非常無線通信の協力協定に関して協議を進めたい。

農地改革

問 現状に合った土地利用を
答 土地利用計画審議会を設置



合田 正夫 議員

合田 現在は、農振農用地であれば

例外を除いて、農地転用ができない。本町は、若者定住施策に力を入れているが、現状ではこの制度が住宅建築の障壁ともなっている側面がある。除外条件の緩和や、農振農用地以外の区域を広げることができないか。

町長 現在の農地振興整備計画が、今後の土地利用について最適であるか総合的に判断する必要があるため、有識者による検討をしたい。

イノシシ対策

問 移動解体車でジビエ肉の流通を
答 積極的に研究、協議

合田 捕獲後のイノシシの多くが廃棄処分されているが、積極的に食用としての利用に取り組んでいくべきではないか。野生鳥獣の移動解体車両の実証実験を開始したとの報道がされた。中讃広域でこの移動解体

処理車両の導入としてはどうか。また、有害鳥獣といえども命あるもの。駆除後の供養も必要ではないのか。
町長 中讃広域管理者研修の際に「中讃広域で導入できないか」と提案したところ「研究、検討しましょう」となった。現時点では、実証実験の段階であるため状況変化についても注視していきたい。供養については、「鳥獣被害対策協議会」で協議する。



移動解体処理車（イメージイラスト）
一車の中に作業室、冷蔵室を完備一

農業振興

問 ひまわり特区を

答 研究していく



川原 茂行 議員

川原 ひまわりは、気温が15度以上あれば発芽するようなので、作付希望者に時期の調整をお願いすることで、多くの人がまんのう町を訪れ、花を楽しむことができる。そして道の駅などにも立ち寄っていただけて特産品をお買い上げいただければ、所得増や雇用の創造などにつながる。

だが、所得が安定又は向上しなければ、ひまわりの作付は増えない。田でWCS(≡発酵飼料)用稲を生産すれば、1反当たり8万円の補助があるが、ひまわりでも(8万円)国からもらえるような仕組みとなるような「ひまわり特区」を創設してはどうか?

町長は、このような特区を作る気があるか?

町長 地域おこし協力隊は、農作物の特産化やブランド化、6次産業化を図ることを目的として採用した。

「ひまわり協力隊」という呼称ではないが、「ひまわり」での町おこしを推進している。本町にとっては

「地域おこし協力隊」がそれにあたる。

まずは特区制度に関する調査を行い、特区が創設可能なのか、また特区以外の手法は存在しないのかについて研究していきたいと考えている。

本町の酪農家から、ひまわりを発酵飼料として乳牛に与えて、その生乳なり加工品なりを商品化してみたいとの意見があるが、これによって他の商品と比較してどのような優位性のある牛乳ができるか検証すべきであると考えている。このための費用について、町の政策として費用負担するのとはやぶさかでないと考えられている。



まちをひまわりで飾ろう

高齢者支援

問 制度の拡充を

答 検討を進める



三好 勝利 議員

三好 免許証の自主返納者に対する取扱い及びアフターフォローについて今以上に何か良い方策を願いたい。

町長 自主返納を促進するため、返納特典としてデマンドタクシー無料共通パス券一年間分を支給することで、当面の返納者の移動手段を補完、現在までに81人の方が本制度を利用している。支援は一年間と限定的で比較的短期間であり、制度利用者から支援期間の延長や無料券の支給対象を返納者の家族までの拡大や、本人確認書類の代わりとなる運転経歴証明書の発行時に必要な交付手数料1千円を全額町が負担等の要望があがっており、制度の拡充についての検討を進めていきたい。

シルバー人材センター

問 良い就業環境に

答 理事会の中で検討

三好 シルバー人材センターの会員になった方の就業環境について。

町長 今年は、気温が35度を超える猛暑日もあり、室外で仕事に従事される方は、非常に苦勞をされたと思う。シルバー人材センターでは、こ

のように気候が厳しいときには、例えば早朝の涼しい時に業務に従事し、日中の暑いときを避けたり、通常期より休憩時間を増やすなど、柔軟な対応で会員の方の健康維持を図っている。今後は、会員の方が生涯現役で地域社会に貢献できるように、理事会の中で顕在する課題等を検討していきたい。

教育支援

問 幼児課の設置を

答 教育指導室の設置を 考えている

三好 教育委員会事務局に幼児課を設定する考えはないか。

教育長 教育委員会事務局で実施している幼児教育や小中学校の教育内容と教育指導に関わる部分を集中させて、教育指導室なるものを設置してはどうかと考えている。こども園に関する教育内容の全ての部分、小中学校の教育内容に関する部分を一つの室に移行して、ここで一括して担当すれば、幼児課の目的を十分に達するのではないかと感じる。

議会報告会(意見交換会)を開催します。



開催6会場 当日議会だより本誌 21号を持参してください。

町内6会場に議員が分かれて参ります。少しでも多くの町民の皆さんと議会に対するご意見や町政のことをお話できるよい機会です。どの会場にでも、ご都合に合わせておいでください。

班	議員名	11月21日(月)	11月22日(火)
		19時~21時	19時~21時
A	◎ 大西 豊	吉野公民館 (研修室)	高篠ふれあいセンター (会議室)
	白川 年男		
	三好 郁雄		
	合田 正夫		
	竹林 昌秀		
B	◎ 三好 勝利	長炭公民館 (第1・2会議室)	琴南農村環境 改善センター (会議室)
	藤田 昌大		
	大西 樹		
	白川 皆男		
	白川 正樹		
C	◎ 川原 茂行	琴南公民館 (2F 洋室)	仲南公民館 (第3研修室)
	松下 一美		
	関 洋三		
	田岡 秀俊		
	川西米希子		

いっしょに
来てつか

もっと身近な
議会に！





農事組合法人杉ノ上ファーム
転換期を迎えた農業「集落営農」



ともに働く集落営農

今回は満濃地区における集落営農組織(農)杉ノ上ファーム(代表 中浦優さん)を紹介します。同ファームは平成21年8月、7戸、面積3・0haで設立。当初、米価が低迷する中、米麦



に露地野菜としてブロッコリやニンニク、タマネギの栽培でスタートしました。努力の末、地域の理解、協力もあり、現在9戸、面積5・3haに拡大してきました。ニンニクに

ついては6次化に挑戦し、加熱して「黒ニンニク」に加工しています。「全員参加型」で、毎週、週例会を開いて作業計画を共有し、担当も明確化しています。

現在、メンバーには50才代が3人。次世代への引き継ぎもできるとのことです。今後は収量、品質を上げ、収益の向上に勤めると共に農業立町「まんのう」のリーダーとして頑張っていくと意欲を持ち取り組まれています。



あしがき
信なくば立たず。議員にとつては、町民の皆さまからの信頼が最も大切です。また、町民の皆さまの代表として、より高い倫理観をもたなければならぬのが議員でもあります。「議会だより」21号の発行にあたり、あらためて、このことを深く胸に刻み議員としての責務を果たしていくことを決意致します。

議会広報特別委員会

- 委員長 川西米希子
 - 副委員長 白川 皆男
 - 委員 川原 茂行
 - 委員 大西 豊
 - 委員 白川 年男
 - 委員 白川 正樹
- 委員長、副委員長が交代致しました。

今月の表紙
仲南こども園
「うんどうかい」

たくさんの人たちの笑顔に見守られて
元気いっぱいの楽しい運動会でした。



みんな元気で ~イエ~イ~

●この議会だよりは、四国新聞販売株式会社に委託し、町内の全世帯に配布しています。配布についてのお問い合わせは、まんのう町議会事務局 TEL. (73) 0109 まで



リサイクル可能な植物油インキを使用しています。